

教校部「聲明」 近松真定

講義名は「聲明」となっていますが、本願寺の勤式全般（作法、莊嚴、読経、味わい）の特徴をお伝えした上で、受講生の想いに応えるかたちで講義内容を決め進めます。どれくらいの熱意でこの講義を受けたいのか、表面的な本願寺声明の概略を紹介するだけでいいのか、私の持ちうるものでしかお応えできませんが、皆さんの勤式関連のご要望にお応えする講義でありたいと思っています。お袈裟と衣を着けて、一時間歩く練習でも有意義な講義です。美しいと思える合掌礼拝を一時間かけて確認し合ってもよいでしょう。目指すべきところは「このお坊さんに御法事や御法要をお勤めしてもらって良かった。有り難かった。」と思ってもらえる何かしらの宗教的感動です（「思ってもらう」ことが目的ではなく、法要を勤める時間が来たので“ただ行っている”という「形式の打破」を言っています）。そして頂戴している仏縁の大切さを僧侶自身を莊嚴として現していく在り方をご一緒に学びたいと考えています。

講義の流れ一例 》得度・教師では習わない現行の本願寺（本願寺派）での聲明作法を『勤式集』を用いて練習。2023年3月末から5月中旬まで、御本山本願寺において慶讃の御法要が勤まっているので「新制御本典作法」も範囲に含む。そして受講生の希望を受けつつ『勤式集』に含まれないものへ範囲を広げたい。

『勤式集』『法式規範』をご準備下さい。他はその都度資料を配布いたします。